

39 学部・予科入学定員変更の件認可 [昭和二十一年五月]

(注記1)

校学二七七号
裁決定 五月八日
文書課長
① (堀内)
送発 五月二十二日
起案者
① (山見)

昭和二十一年四月二十三日起案

事務官 ① (春山)

大学教育課長 (加筆) ① (後伺)

学校教育局長 (田中) ① (5.4)

次官 ① (山崎)

文書課長 ① (江田/21.5.7)

(注記2)

① (萩原) ① (斎藤)

(注記3)

入学定員変更ノ件
指令案 (一)
中央大学設立者

財団法人中央大学

昭和二十一年一月二十三日附申請入学定員変更ノ件認可ス

(注記4)

年 月 日
文部大臣

(下 札)

備考

入学定員ヲ左ノ如ク戦前ニ復帰セントス

学部	現在定員		変更定員	
	夜	昼	夜	昼
予法学部	一一〇	一一〇	二四〇	二四〇
予経済学部	四〇	四〇	一一〇	一一〇
予商学部	〇	〇	八〇	八〇
法学部	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇
経済学部	二〇〇	二〇〇	一一〇	一一〇
商学部	〇	〇	八〇	八〇

通牒案(二)

中央大学総長宛

入学定員変更ノ件

学校教育局長

昭和二十一年一月二十三日附申請相成タル標記ノ件ハ本日別途

指令ノ通許可相成タル処〔二部二部共〕大学予科ハ一学級四十人、十一学級ヲ以テ編成シ夫々学部ニ連絡相成次第ナルガ学生生徒ニ対スル厚生輔導ニ関シテハ格段ノ御留意相成リ実施上万全ヲ期セラレ度、

昭和二十一年一月廿三日

中央大学学長 林 頼三郎 印

文部大臣 安倍成能殿

(加筆)

入学定員増加ニ関スル件申請

戦争中御通牒ニ基キ募集定員減シタルニ依リ昭和十九年度ヨリ商学部募集ヲ停止中ニ候処終戦後法文経ノ志望者激増ノ傾向ニ有之候ニ就テハ廿一年度ヨリ学部予科共商学部ノ募集ヲ復活シ且ツ法学部及経済学部ノ募集定員ヲ左ノ通り増加致度候ニ付御認可相成度及申請候也

学部		学部入学定員		
部科別	昼夜別	入学定員		整備前
		廿一年度 予定定員	廿年度 第一学年 入学定員	
法学部	昼	二四〇	二四〇	二四〇
	夜	二四〇	二四〇	二四〇

商学部		経済学部	
夜	昼	夜	昼
抹消(二五〇) 加筆(八〇)	抹消(二五〇) 加筆(八〇)	二二〇	二二〇
中止		二〇〇	二〇〇
八〇	八〇	一二〇	一二〇

四四〇〇(旧予科)四四〇〇
四四〇〇(入学)四四〇〇

商学部		経済学部		法学部		部科	入学年度	大学予科入学定員
夜	昼	夜	昼	夜	昼			
抹消(二六〇) 加筆(二〇)	抹消(二六〇) 加筆(二〇)	抹消(二六〇) 加筆(二〇)	抹消(二六〇) 加筆(二〇)	二四〇	二四〇	廿一 年度 定員		
中止		四〇	四〇	二二〇	二二〇	廿年 度 定員		

計

一〇学級四〇日 三十二室
法学部六〇増

大学部定員増加経費収支概算額調書
収入之部

収入科目	二十一年度	二十二年	二十三年
大学部	一六五、〇〇〇円	二八九、五〇〇円	三八四、五〇〇円
商学部	七六、〇〇〇円	一三五、二〇〇円	一八二、二〇〇円
予科	二四一、〇〇〇円	四二四、七〇〇円	五六六、七〇〇円
授業料			

摘要

支出之部

支出科目	二十一年度	二十二年	二十三年
俸給	一三八、七五〇円	二五六、五〇〇円	三三四、二五〇円
諸品	一四、二九一	二二、五一二	三一、一一五
備品	一七、一五一	二八、二一三	三七、三〇一
生徒諸費	一四、九五三	二四、五九七	三二、四八七
雑費	一六、〇五二	二六、四〇六	五〇、二三一
修補費	一六、七一五	二七、四九二	三六、三五七
計	二四一、〇〇〇	四二四、七〇〇	五六六、七〇〇

摘要

大学部 授業料収入額計算書

科別	授業料 (一名年額)		人員	授業料		人員	授業料	
	夜	昼		二十一年度	二十二年		二十一年度	二十二年
大学部	五〇〇	六〇〇	一五〇人	七五、〇〇〇円	九〇、〇〇〇円	一五〇人	七五、〇〇〇円	
商学部	五〇〇	六〇〇	一五〇人	七五、〇〇〇円	九〇、〇〇〇円	一五〇人	七五、〇〇〇円	
予科	四〇〇	五〇〇	一四〇人	五六、〇〇〇円	六八、〇〇〇円	一四〇人	五六、〇〇〇円	
合計	四〇〇	五〇〇	四四〇人	一六六、〇〇〇円	二〇八、〇〇〇円	四四〇人	一六六、〇〇〇円	

大学部
同予科
学生定員増加人員計算書

区分	予大						商大						年度
	科学			学部			学部			学部			
	夜	昼	計	夜	昼	計	夜	昼	計	夜	昼	計	
一学年													二十一年度
二学年													二十二年
三学年													二十三年
計													備考

大学部
同予科
教職員俸給額算出計算書

費目	二十一年度		二十二年		二十三年	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
教授	七人	一三六、七五〇円	七人	一三六、七五〇円	八人	一四九、〇〇〇円
講師	七人	七三、五〇〇	七人	七三、五〇〇	八人	九四、五〇〇
書記	四七人	三六、七五〇	四七人	三六、七五〇	四八人	四四、〇〇〇
雇員	三三、七五〇	七、五〇〇	四七人	一、五〇〇	五八人	一八、七五〇

備考一、本表中「改」ハ減員見込ヲ控除センモノトス。

大学部
同予科
教職員人員表

区分	大学予科			大学商学部			担任人員
	計	教授	講師	計	教授	講師	
二十一年度	九七四	九六三	九六三	九七四	九六三	九六三	備考
二十二年	九七四	九六三	九六三	九七四	九六三	九六三	
二十三年	三三二	五四二	五四二	三三二	五四二	五四二	

校舎
教室略図
坪数
学級配置

大学院三二坪一室

学部	坪数		坪数	坪数
	室数	坪数		
経済学部	五	六八	五	六八
法学部	四	六八	四	六八
商学部	五	六八	五	六八
経済学専攻	五	六八	五	六八
法学専攻	四	六八	四	六八
商学専攻	五	六八	五	六八

予科 二〇坪正正下 二六坪下 但二十六室

計三二室

工専 一八坪一 二〇坪正 三〇坪一
(入学定員二〇〇) 計六室

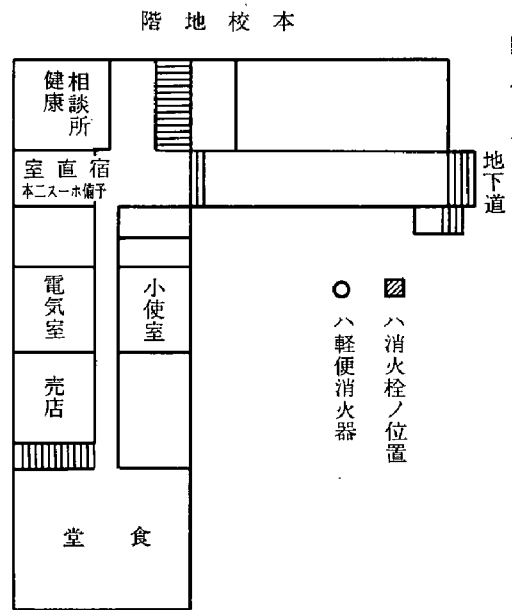
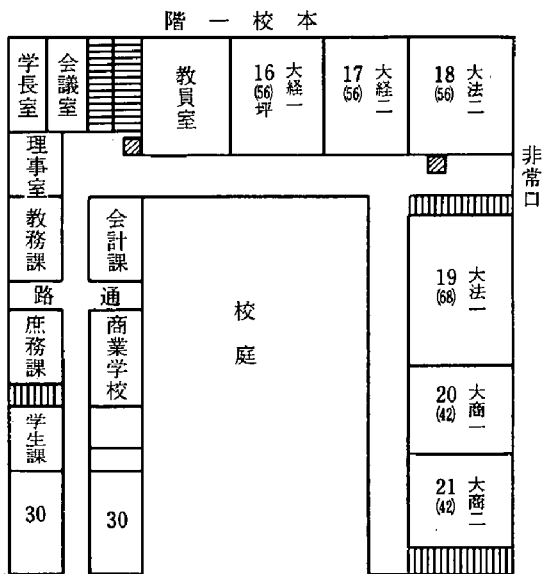
教員室(予科一) 学部研究室(56坪)

$$240 : 206 = 1950 : x$$

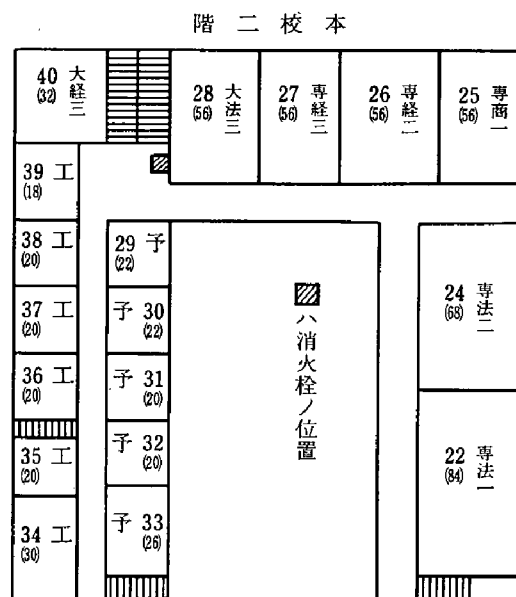
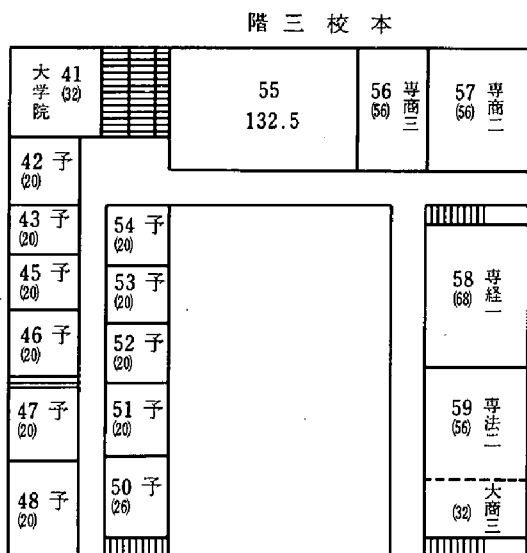
$$x = \frac{206 \times 1950}{240} = 1674$$

$$1674 \div 40 = 42$$

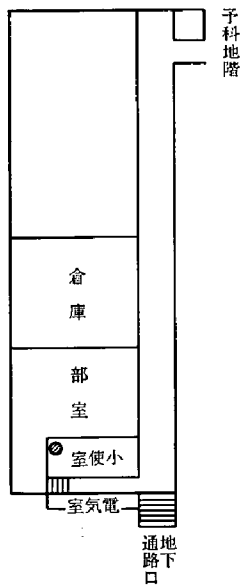
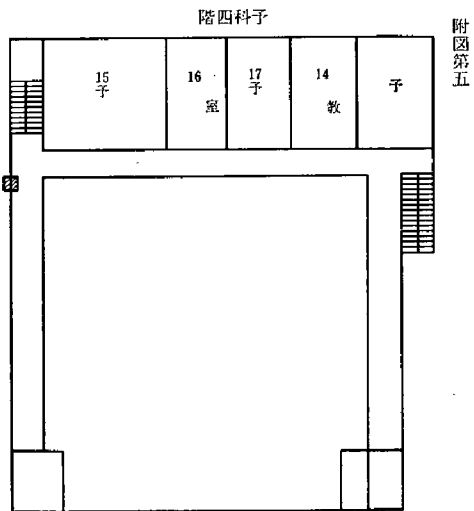
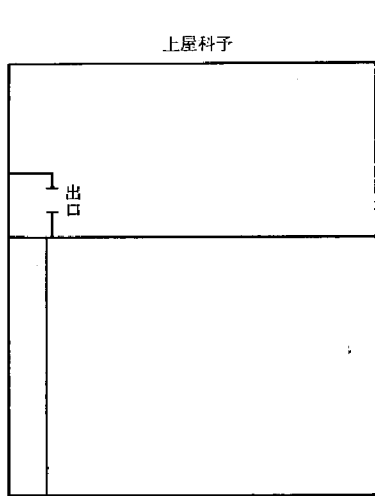
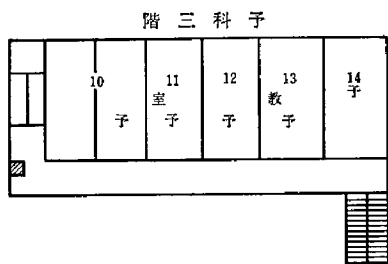
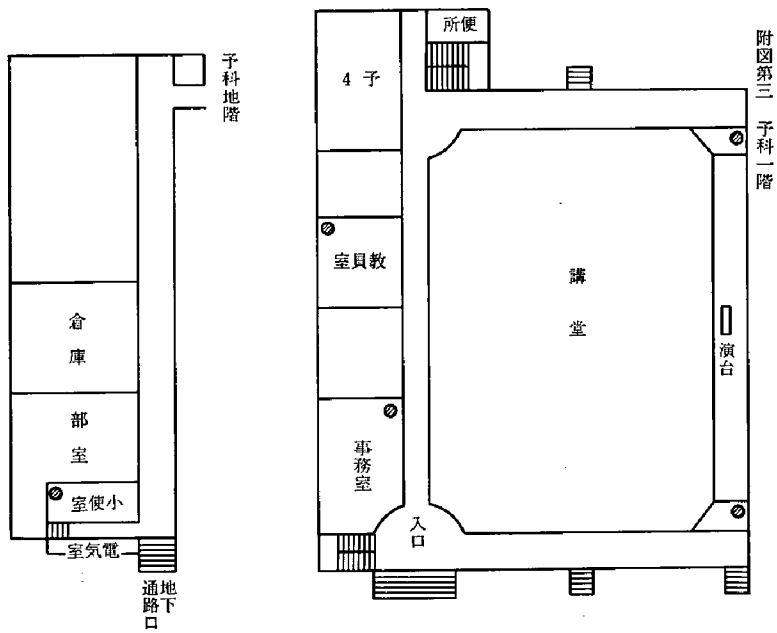
$$1674 \div 50 = 33.5 \text{室}$$



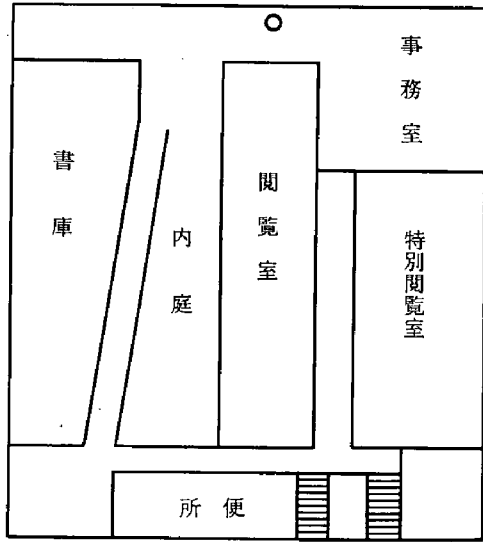
附図(第一)



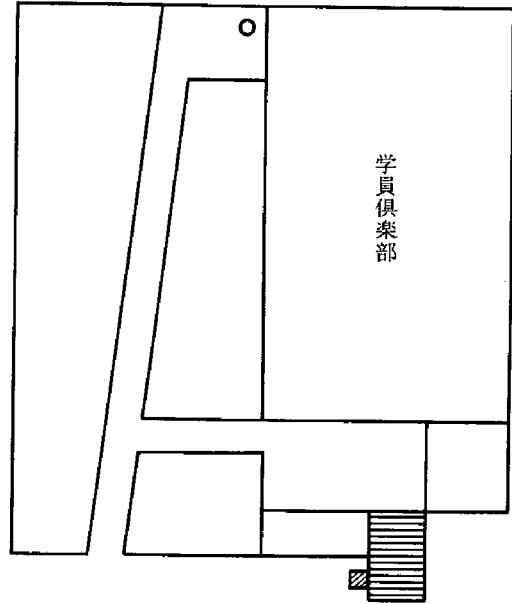
附図第二



階一館書図

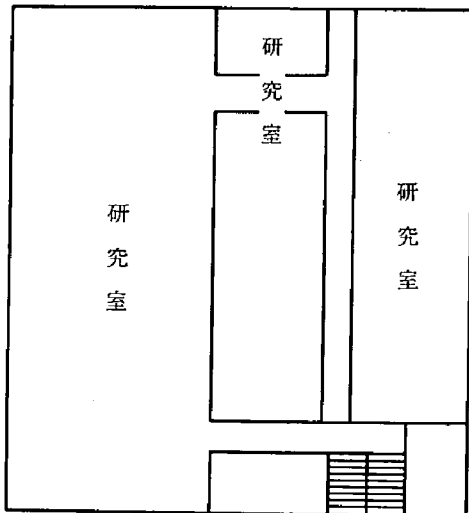


階地館書図

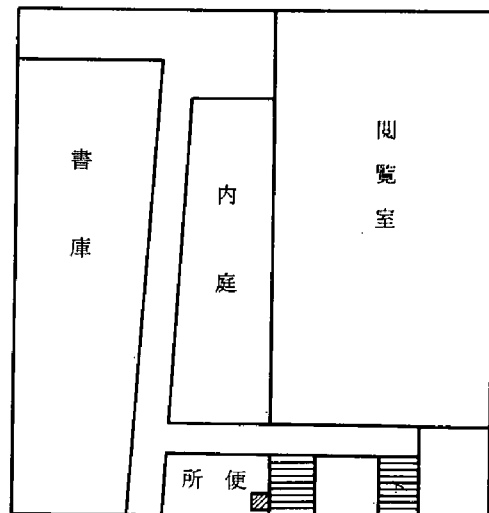


附図第六

階三館書図



階二館書図



附図第七

中央大学教室調

一、予科 二〇坪一三室 本館 別館一六室(坪数不明)

(昼夜共六五〇名)計三二二室
(全定員)

一 年 二 年 三 年

昼間入
学定員 坪数 室数 坪数 室数 坪数 室数

二、学部 経済学部(二〇〇) 五六^坪 一 五六 一 三三一

法学部(三〇〇) 六八 一 五六 一 五六 一

商学部(一五〇) 四二 一 四二 一 三三一 一

三、専門部 経済学科(二五〇) 六八 一 五六 一 五六 一

法律科(四〇〇) 八四 一 六八 一 五六 一

商学科(二〇〇) 五六 一 五六 一 五六 一

四、大学院 三二坪 一室

五、工専 一八坪一 三〇坪一

(二〇〇名) 二〇坪四 計六室

教員室 予科一室 学部専門部 一室五六坪 研究室三

昭和廿一年四月一日 中央大学

定員増加ニ伴フ追伸

福利施設ニ付テ

(注記5)

本学ニ於テハ現時ノ住宅難下宿難等ニ鑑ミ昨年十一月寄宿舎ヲ設置シテ希望者ヲ收容シ又学校内ノ柔道場、大弓場及数年前買取シ西園寺公爵邸等疊敷ノ室ニ学生生徒ヲ寄宿セシムルハ勿論^(抹消)場合ニ依リテハ空キ教室ヲ開放^(抹消)(セシムル)^(加筆)(シテ)寄宿舎ニ供ス

ル予定ナリ

寄宿舎ハ今後モ適當ノ家屋アラバ買収シテ増置スル予定ニテ物色中ニ属セリ

又学校食堂モ不完全ナガラ最近再興シテ教職員学生生徒ニ食事ヲ供与シツ、アリ

以上

(注記1)

「完決」

(注記2)

「記録掛/21・1・31/受領」

(注記3)

「回付月日/五月四日/文書/五月七日/次官」

(注記4)

「一五」(簿冊内件名番号)

(注記5)

「現在収容数 百名/余力五十名」

(下札)

④種別 わ一ノ四/聯繫 /登録追加 /件名 中央大学申請、^(抹消)入学定員変更^(抹消)(ノ件)^(加筆)(認可)/番号 /結了年月日 昭二一、^(抹消)二五^(加筆)八^(加筆) /三〇 /保存年限 /枚数

〔自大13年5月至昭22年3月 中央大学 第5冊〕
文部省④ 3A. 92.109